

設楽ダンプカー協会による交通事故防止広報活動出発式

設楽警察署は管内の交通死亡事故者数ゼロを図るため、設楽ダンプカー協会の協力により、プロの運転手が一般ドライバーの手本となる運転に心がけ、重大事故に直結する速度抑制を図る目的で、ダンプカーに横断幕を取り付けて「交通ルール」「交通マナー」等を厳守する活動を行うこととして、活動に先立ち出発式を3月2日に開通予定の東栄町三輪下奈根の三遠南信自動車道東栄インターチェンジ入り口で行いました。

行政から私と総務課交通安全担当、広報担当が出席をさせていただきましたが、協会員のダンプドライバーや警察署員を含め約30名もの皆さんに参加いただきました。

最初にダンプカー協会亀山会長のあいさつがあり「プロドライバーが速度を落とし、安全運転に心がけ、一般車両が安全に走れるようにしたい」と述べられました。次に設楽署大崎署長より「昨年管内で2人の死亡事故があり、二度と悲しい事故を起こさないようにペースカーとなり、ゆっくり走ってほしい」との話をされました。私からはダンプカー協会の協力に感謝し、我々としてもできる限りの努力をしていくことをお約束させていただきました。

その後「ゆっくり走ろう奥三河 私はペースカーです」の横断幕を取り付けたダンプカー12台が各方面に分かれて走行し、一般ドライバーらに交通安全を呼びかけました。

2月1日からは協力していただけるダンプカーには、この横断幕を取り付けていただき、ペースカーとして交通安全活動を行っていただきます。

町民ドライバーの皆さんも規定速度を守り、安全運転に心がけていただきたいと思います。

平成31年2月1日

東栄町長 村上孝治





右から大崎署長、亀山会長、村上町長、佐々木交通安全協会支部長



横断幕を付けたダンプカー12台が東栄ICチェンジから各方面に出発